

製品名: IL-3R β (リン酸化 Tyr593) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04840**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	125kDa

抗原情報

遺伝子名	CSF2RB
別名	CSF2RB; IL3RB; IL5RB; Cytokine receptor common subunit beta; CDw131; GM-CSF/IL-3/IL-5 receptor common beta subunit; CD antigen CD131
遺伝子 ID	1439.0
SwissProt ID	P32927
免疫原	抗血清は、ヒト IL-3R ベータの Tyr593 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 559-608

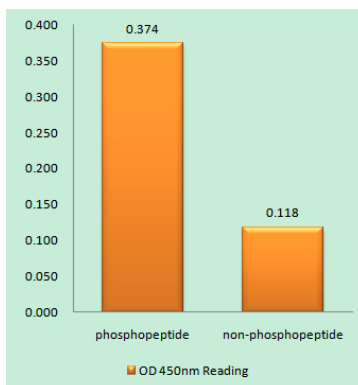
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、IL-3、IL-5、およびCSFに対する高親和性受容体の共通β鎖である。この遺伝子の欠陥は、タンパク質性肺胞タンパク症（PAP）に関連することが報告されている。[RefSeq 提供、2008年7月]、疾患：CSF2RBの欠陥は、先天性肺胞タンパク症（PAP）[MIM:265120]の原因である。PAPは、常染色体劣性の致死性呼吸器疾患である。、ドメイン：ボックス1モチーフは、JAKとの相互作用および/または活性化に必要である。、ドメイン：WSXWSモチーフは、適切なタンパク質の折り畳み、ひいては効率的な細胞内輸送および細胞表面受容体結合に必要であると考えられる。、機能：インターロイキン-3、インターロイキン-5、および顆粒球マクロファージコロニー刺激因子に対する高親和性受容体。、類似性：I型サイトカイン受容体ファミリーに属する。タイプ4サブファミリー。、類似性：2つのフィブロネクチンタイプIIIドメインを含む。、サブユニット：αサブユニットとβサブユニットのヘテロ二量体。βサブユニットはIL3、IL5、GM-CSF受容体に共通。、

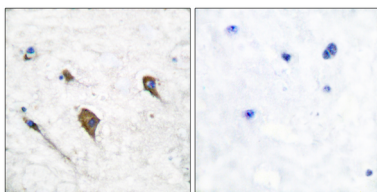
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;Jak_STAT;

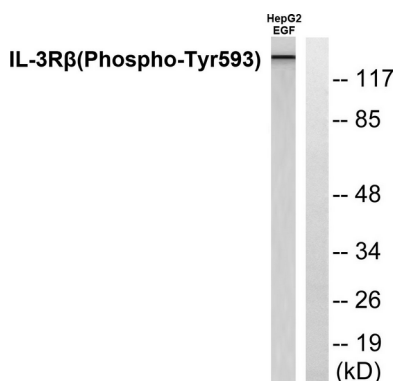
画像データ



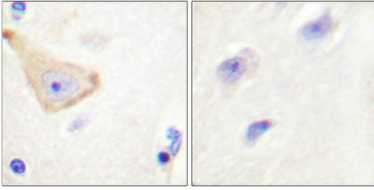
IL-3R ベータ（リン酸化 Tyr593）抗体を用いたリン酸化ペプチド（リン酸化左）および非リン酸化ペプチド（リン酸化右）免疫原の酵素結合免疫吸着測定法（リン酸化 ELISA）



IL-3R ベータ（リン酸化 Tyr593）抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



G-CSF 25 ng/ml 15 分処理した RAW264.7 細胞のライセートを IL-3Rβ（リン酸化 Tyr593）抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。